

## キクラゲ栽培、商品力に磨き

○…「毎日、キクラゲのことを考えている」と微笑むのは、ホンダロジコム社長の本多敦さん。同社の本業は物流だが、2017年から春日井市で始めたキクラゲ栽培に力を入れている。障害者3人を含む7人のスタッフで育てるキクラゲは、月産600〜千キ。オリジナルキャラクターも制作し「差別化、ブランド化を進めたい」と拡販に意欲をみせる。

○…自慢のキクラゲを使った加工食品の企画開発やレシビの公募、発信にも取り組む。名古屋市中このほど開いた試食会では、中部大学（春日井市）の学生との産学連携プロジェクトで開発した新商品のキクラゲ入りみそ汁のほか「キクラゲプリン」や



「パンダこんにゃくのナムル」などの料理も披露した。「肉厚で無農薬、食物繊維やカルシウムなどの栄養素が

豊富な点を主婦や子どもたちにPRしたい」と力を込める。（春日井）

ロビー